遭難事故防止啓発活動（御在所岳）　　実施報告書

遭難対策委員長　　中川邦仁

令和４年４月２３日（土）　三重県山岳スポーツクライミング連盟主催の「春の安全登山と自然保護啓発活動」が行われました。愛知岳連からも４名が参加し、当日訪れた登山者に安全登山をよびかけました。

６時前から９時頃まで、御在所岳の中道登山口にて警察の方、地元の山岳関係者の方と一緒に活動を行いました。
当日は鈴鹿スカイラインが通行止めとなっており、中道の登山者はいつもに比べてかなり少ないようでした。
それでも２００人以上の登山者が上がってきていて、調査の為のアンケートをお願いしたり、登山届の提出と安全登山のパンフレットを配布し事故防止を呼びかけました。

半数以上が愛知県からの登山者でしたが、計画書を事前に準備していないグループもまだまだ多く
こういった地道な活動の重要性を感じました。
また天気が良かったとはいえ雨具や地図、ヘットランプ等、非常装備を携帯していない登山者も多く、単独登山での道迷いや、非常装備の携帯など特に注意を呼びかけました。

また地図については近年スマートフォンのアプリを利用する方がほとんどですが、その特性や使い方を十分理解していないと逆に遭難につながる恐れもあり、改めて勉強する機会が必要だと思いました。

毎年、定期的に行われている活動ですので、これからも沢山の方に参加してもらい事故防止につなげていければと思います。

中道登山口にて三重岳連、県警の方々と